

紙面の都合上掲載出来なかった記事や写真をホームページ上で公開しているの、ぜひご覧ください。ホームページへは「八幡自治組織」検索



# ◆誰もがなりうる認知症◆ 認知症になっても安心して暮らせる社会を

## 八幡人権協総会

八幡人権教育推進協議会では、7月2日総会を開催。誰もが差別をすることなくまた受けることのない社会の実現に向けて活動していくことを総会で確認しました。講演会では認知症について知識を深めました。



議長に、長小野の日隈孝夫自治委員が選出され議事

議長に、長小野の日隈孝夫自治委員が選出され議事を進行。任期満了による役員改選が行われ、横山弘康会長の後任に綾垣自治委員会長の豊國隆信さんが新会長に選出されました。

総会のあと、研修会が行われ、研修の講師は社会医療法人 佐伯保養院の副院長である山内勇人氏で、『認知症になっても安心して暮らせ、必要とされ、生きがいを感じられる社会づくり』を目指して、医療の傍ら各地で講演活動をしています。

認知症になった人も、憲法で保障されている基本的



【編集・発行】  
八幡自治組織運営協議会  
【事務局】  
八幡自治会館  
(八幡の郷サンホール)  
TEL: 72-0033

人権が尊重されることはもちろんで、最期まで自分らしく生きられなければなりません。

認知症は誰もがなりうる病気であり、早期診断や適切な治療などで進行を遅らせることができる事など教えて頂きました。また、認知症になっても最期まで自分らしく生きるための手伝いができる時代になってきているが、その為には、専門職だけでなく、地域の理解や協力が不可欠な事をお話して下さいました。



認知症の内、半数はアルツハイマー型の認知症で「単なる物忘れ」と違い、自覚症状が本人に無いか乏しいかで、記憶の一部分が抜け落ちるため、「安心」して過ごすため、

せる環境を整えてあげることが大切なようです。山内先生は、「認知症の人や障がい者は人生の先輩であり、認知症の人が住みやすい社会をつくっていくことが大切である。それを実行することにより認知症支援は地域づくりにつながっている。」と結びました。

## オレンジフェスタin玖珠 ～認知症について考えてみませんか～

ご自分やご家族が認知症になっても、住み慣れた地域で安心して暮らしていくためにはどのようにしたらよいでしょうか？

今年3月に認知症連携協定を締結した、エーザイ株式会社のご協力により認知症疾患啓発ドキュメンタリー映画の上映と、佐伯保養院副院長 山内氏による講演を開催します。

みなさん、お誘い合わせて是非おこしください。※入場無料です。

日時：平成29年8月19日(土) 受付：午後12時30分～午後1時00分

会場：くすまちメルサンホール

13：00～ 映画「妻の病」ーレビー小体型認知症ー

エーザイ株式会社提供

14：40～ 講演会 演題「住み慣れた地域で暮らしていくために  
～認知症との向き“愛”方～」

講師 佐伯保養院副院長 山内 勇人 氏

お問い合わせ先：玖珠町福祉保健課高齢者支援係 72-1115